

国連防災グローバル・プラットフォーム(GPD RR 2025)に参加、登壇しました (2025/6/2～6)

テーマ：防災、災害レジリエンス、気候変動適応、国際連携、国際協力

会 場：スイス・ジュネーブ（国際会議場 CICG、Varembé 会議センターCCV、世界気象機関（WMO））

URL：<https://globalplatform.undrr.org/>

2025 年 6 月 2 日から 6 日まで、スイス西部の都市・ジュネーブにおいて、第 8 回国連防災グローバル・プラットフォーム会合（GPD RR 2025: Global Platform for Disaster Risk Reduction 2025）（主催：国連防災機関 UNDRR）が開催されました。本国際会議は、防災分野の国際アジェンダ「仙台防災枠組」の進捗状況を各国で共有し、合意目標の達成を促進するために 3 年に 1 度開催されるものです。閣僚級をはじめ、各国から政府関係者、NGO、研究者など、多くの関係者が集まりました。

本学からは小谷元子理事（研究国際戦略・展開担当）のほか、当研究所の栗山進一所長・教授（災害公衆衛生学分野）、越村俊一副所長・教授（災害ジオインフォマティクス研究分野）、小野裕一副所長・教授（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）、竹谷公男特任教授（客員）（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス、本務先：国際協力機構（JICA）防災分野特別顧問）、西川智特任教授（客員）（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス、本務先：JICA 国際協力専門員）、泉貴子教授（国際環境防災マネジメント研究分野）、小森大輔特任教授（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス、本務先：グリーン未来創造機構）、永見光三特任教授（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス、本務先：グリーン未来創造機構）、原裕太助教（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）が参加し、下記のステージ、セッションで登壇、運営を担いました。また開会期間中、国内外の参加者・登壇者、国連職員らと活発な意見交換を行いました。

● 本学・本研究所教員の登壇、運営など

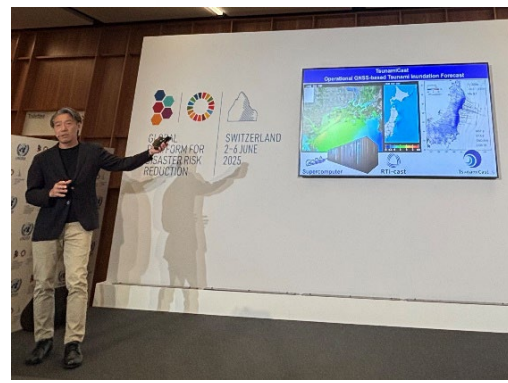
6/4	Ignite stage: Disaster loss and damage data to develop better DRR and CCA Policy	原 裕太・佐々木大輔・小野裕一
6/5	Ignite stage: Real-time Impact-based Tsunami Forecast Facility and Tsunami Ready	越村俊一・Denis Chang Seng (UNESCO IOC)
6/5	Thematic session TS1-2: From data to action: Strengthening the understanding of disaster impact data and its application in decision-making	小野裕一 (Organizing Team expert)
6/5	Thematic session TS1-3: Development and adoption of technologies to accelerate disaster risk reduction	小谷元子 (講演者) 永見光三 (Organizing Team expert)
6/6	Side event: All-of-society engagement to finance the gap in Disaster Risk Reduction Investment (主催・共催：JICA、当研究所、中米防災調整センター (CEPREDENAC)、インド工科大学ボンバイ校 (IITB))	西川智 (モデレーター) 竹谷公男 (講演者) 小森大輔 (講演者)

文責：原 裕太（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）

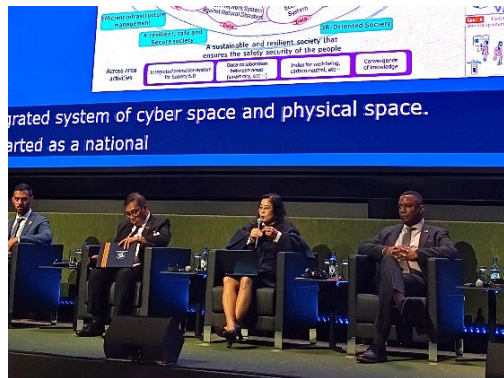
（次頁につづく）



Ignite stage (原助教)



Ignite stage (越村副所長)



Thematic session TS1-3 (小谷理事)



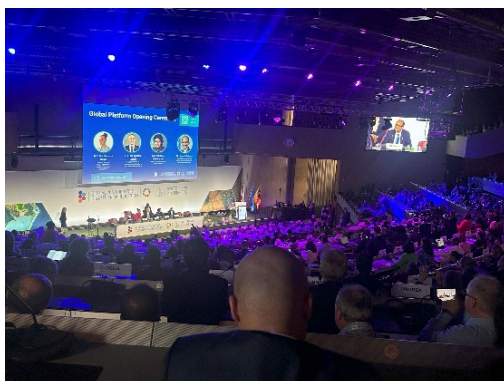
栗山所長 (左)、木村達哉 WMO Director
(WMO 本部表敬)



JICA 主催 Side event (集合写真)



JICA 主催 Side event (竹谷特任教授(客員)
(左端)、小森特任教授(右から2人目))



GPDRR 2025 Opening Ceremony



GPDRR 2025 展示ブースの様子